

感染症発生状況

令和7年7月2日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年6月23日（月）～6月27日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 262名 【職員】 5名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 52名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（147名）、咳・鼻水（86名）、下痢・腹痛（15名）、嘔気・嘔吐（14名）

疾病別：手足口病（20名）、伝染性紅斑（リンゴ病）（8名）、咽頭結膜熱（プール熱）（7名）、
突発性発疹症（6名）

【職員】 症状別：熱（3名）、頭痛（1名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（5名）

盛岡も暑い夏に入ってきました。

夏風邪（手足口病、プール熱【アデノウイルス感染症】）が流行し始めています。

どちらも接触感染ですので手洗いの励行をお願いします。

【疾病別の発生状況】

手足口病 河北地区で増加しました。

伝染性紅斑（リンゴ病） 盛南地区で増加しました。河北地区、河南地区、都南地区で減少しました。

咽頭結膜熱（プール熱） 玉山地区、厨川地区で増加しました。盛南地区で減少しました。

突発性発疹症 盛南地区、都南地区で増加しました。厨川地区で減少しました。

【県の状況（6/16～6/22）】

ウイルス性肝炎の報告が1例ありました。

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。

梅毒の報告が3例ありました。

百日咳は95例報告されました。年齢別では10代、次いで5～9歳の報告が多くなっています。かぜ様の症状と激しい咳が特徴です。1歳未満の場合は重症化や死亡のリスクがあるため、接種対象年齢に達した小児に対し、ワクチンを接種することが望まれます。手洗いや咳エチケット等の感染予防対策も忘れずに行いましょう。

今年は県内でつつが虫病の発生が4例ありますが、国内ではほかに日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）等のダニ媒介感染症の発生がみられ、死亡例も出ています。野外で活動する際は肌の露出を少なくし、ディート含有の虫よけ剤を使う、帰宅後はすぐに入浴する等の対策が重要です。発熱、発疹、頭痛等のほか、皮膚に特徴的な刺し口がみられた場合は早期に受診をしてください。

伝染性紅斑（リンゴ病）の定点当たり患者数は3.0人となり、感染症発生動向調査開始後、最多となりました。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症ですが、妊婦が感染すると胎児の異常や流産の危険性が生じる場合があります。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。流行時期にはこまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】